

釧路森林資源活用円卓会議（第1回 全体会）について

1. 開催日時 平成 25 年 5 月 13 日（月）午前 10 時～11 時半
2. 開催場所 釧路工業技術センター 2F 会議室
3. 参加人数 委員 15 人、オブザーバ 9 人、事務局 9 人
4. 会議の概要

- ・釧路森林資源活用円卓会議は、川上（木材産出側）から川下（木材供給側）の関係者が一堂に会し、森林資源を活用する取組について話し合いを行う会議。
- ・鈴木不二男座長（釧路地方林業会会長）の進行のもと、議論を行った。
- ・事務局である釧路市より、平成 24 年度の取組内容と平成 25 年度に取組予定の事業について説明が行われた。

【主な平成 24 年度の取組】

- ・カラマツ木造住宅の気密測定試験
- ・カラマツ壁材、学校机、ダイニングテーブル、会議机などの商品開発
- ・人材研修やバスラッピング、イベント開催

【主な平成 25 年度の取組】

- ・造材コストの調査、林道開設効果の調査
- ・開発した製品の成果発表会の開催
- ・木づなプロジェクトの一般向け PR 方法の検討

5. 会議での意見

【平成 24 年度の取組について】

- ・市有林で今後、更新伐を進めて行くと、伐採収入が得られると思うので、その収入を植え付けなどの森林整備に回した方が良い。
- ・昨年度は、音別にカラマツ学校机を導入したが、一部にソリがみられるなどの不具合があった。今年、両面を FRP 塗装する等の対応をして改善していきたい。
- ・会議机の導入、応接室の整備など道も率先して地域材利用の推進に努め、ひいては関係市町村に同様の動きが広がるのを期待している。

【平成 25 年度の取組について】

- ・林業機械の導入など低コスト化が進んでいるので、造材コストの把握は必要である。林業専用道の導入は、造材コストを下げるし、夏場の造材を可能にするので、年間を通じた安定した伐採につながるのではないかと。
- ・テレビ「1×8いこう」でも、今度林業をテーマに番組を実施するので、そういうのを利用して釧路の取組も PR できると良い。
- ・くしろ遊学館においては、子供向けに木のおもちゃのイベントを実施しているので、連携して子供向けに PR したらよい。



鈴木座長による議事進行
(右から二人目)

新商品開発の説明

